

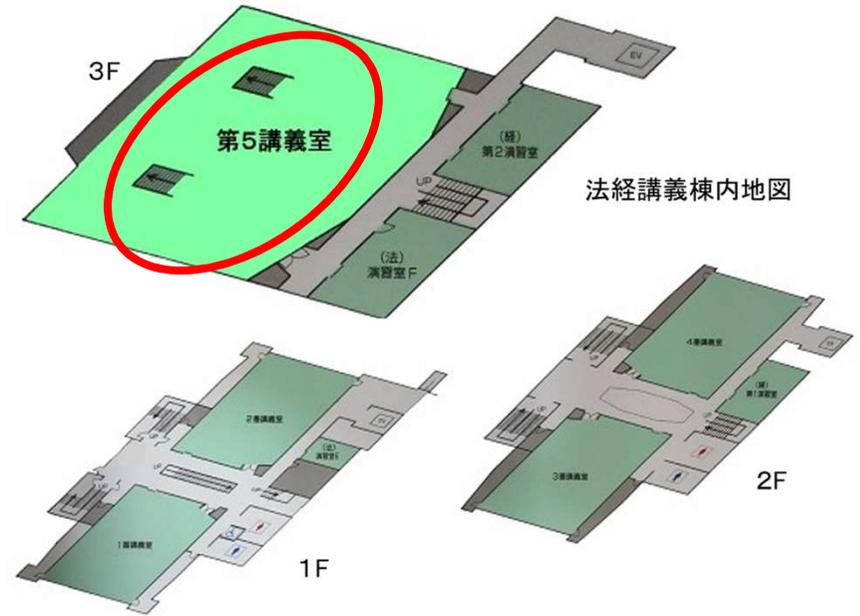
■ネーミングライツ・パートナー公募対象施設等一覧（2022/10/3掲載）2022/11/24赤字更新

	キャンパス	類型	対象となる施設等	延床面積 (㎡)	席数 ※1	主な利用者	年間利用者 (概算)	備考
1	豊中	講義室	法経講義棟 第5講義室	334.00	322	経済学研究科・経済学部の学生	110,000	応募期限：2023年1月24日（火）
2	豊中	講義室	理学研究科 D501講義室	204.00	192	理学部・理学研究科の学生	38,005	
3	吹田	コモンズ・オープンスペース	フォトニクスセンター105号室	48.20	立食形式で 約30名	学生、教員、貸しラボ入居者	1,000	
4	豊中	コモンズ・オープンスペース	総合図書館C棟グローバルコモンズ	545.00	148	豊中キャンパスの学生	28,657	
5	豊中	学内外共用実験室	エマージングサイエンスデザインR3センター G棟ナノエレクトロニクス実験室	78.00	6（装置3台、 席2つずつ）	学内大学院生、教職員、 社会人学生、企業共同利用者	1,000	
6	豊中	コモンズ・オープンスペース	全学教育推進機構管理・講義A棟学生ラウンジ	29.00	20席程度	学生（主に全学部の1、2年生）	11,500	

ネーミングライツ対象施設等所在地一覧 (2022/10/3掲載)



ネーミングライツ対象施設【1. 法経講義棟 第5講義室】（2022/10/3掲載）



室名	法経講義棟第5講義室（豊中キャンパス）
面積	334㎡
収容人数	322人
タイプ	講義室
利用者	経済学研究科/経済学部
利用者数	延べ110,000人（2018年度）※コロナ前(平常時)の延べ人数(概数)
ポイント	大阪大学の文系部局内で最大規模の広さを誇る講義室
	1972年の竣工からちょうど半世紀を迎えた歴史ある講義棟
	外部からの自然光を多く取り込んだ明るい室内

ネーミングライツ対象施設【2. 理学研究科 D501講義室】（2022/10/3掲載）



室名	理学研究科 D501 講義室（豊中キャンパス）
面積	204㎡
収容人数	192人
タイプ	講義室
利用者	理学部・理学研究科の学生
利用者数	延べ38,005人/年
ポイント	<p>理学研究科が所有する最も収容可能人数の大きい講義室。理学研究棟B棟とC棟をつなぐ位置にあり、講義がない時間帯は多くの学生などが室内を通過してB・C棟へ行き来しており、上記の利用者数以上に多くの人が通ることが予想される。</p> <p>また、物理学者であり大阪大学初代総長の長岡半太郎博士の揮筆による「勿嘗糟粕」※の書（レプリカ）が教壇の隣に飾られており、理学研究科の精神的規範が感じられる。</p> <p>※ 糟粕（そうはく）を嘗（な）むる勿（なか）れと読み、“つねに創造的であれ” という意味。</p>

ネーミングライツ対象施設【3. フォトニクスセンター105号室】 (2022/10/3掲載)



TMT(お茶会)の様様



105号室入口



105号室(前方向)



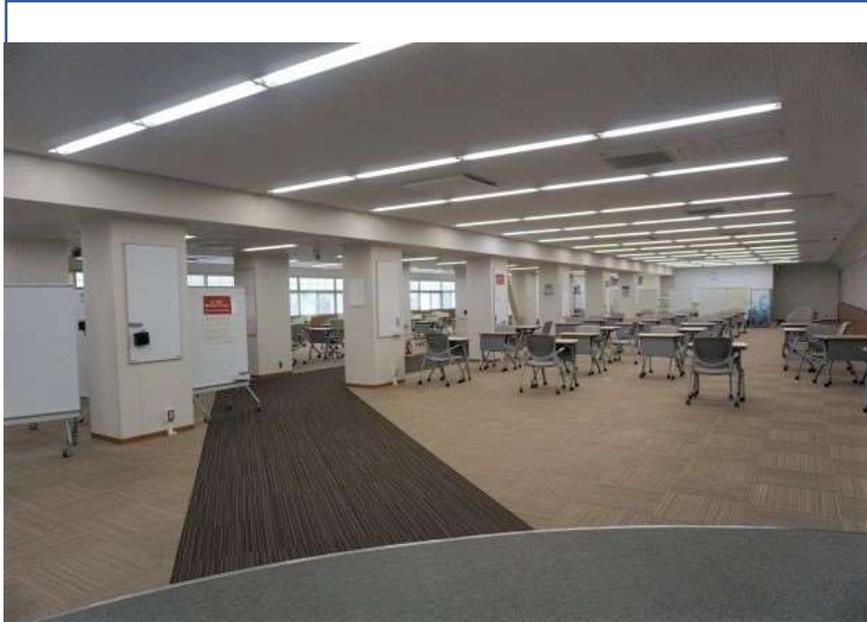
建物全景



105号室(後方向)

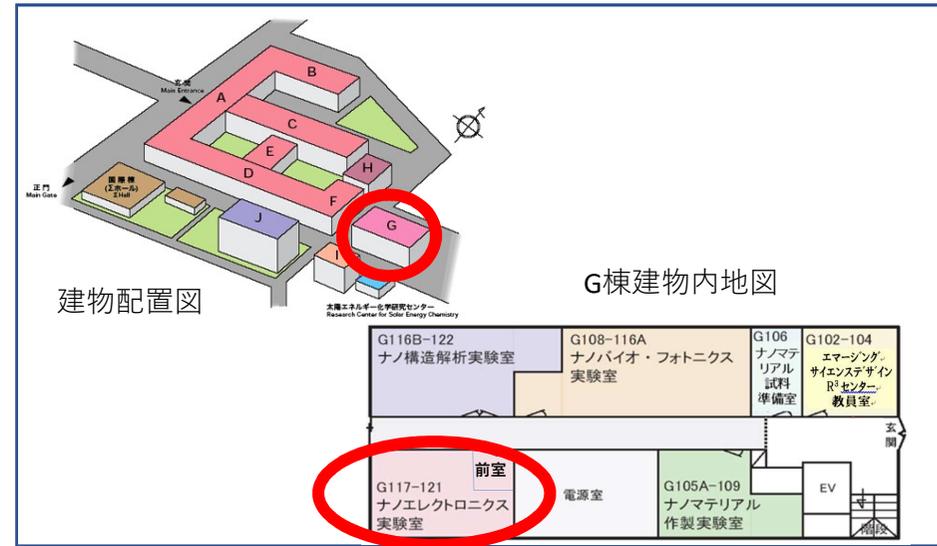
室名	フォトニクスセンター105号室 (吹田キャンパス)
面積	48㎡
収容人数	立食イベント時 約30人
タイプ	コモンズ (イベントスペース)
利用者	学生・教職員・民間企業
利用者数	1,000人/年
ポイント	本館の全利用者が利用する1階エントランスホールに隣接し、入居者のみならずセミナー、会議、商談等で訪れた学生、企業の方などへのアピール度も高い (1階には来客用駐車場も完備) 専用Wi-Fi設備の他、大型モニターなど音響・映像環境も完備 地域や産業界などとの連携イベントに数多く利用

ネーミングライツ対象施設【4. 総合図書館C棟グローバルcommons】（2022/10/3掲載）



室名	総合図書館C棟2階グローバルcommons（豊中キャンパス）
面積	545㎡
収容人数	148人
タイプ	commons
利用者	豊中キャンパスの学生
利用者数	28,657人(2021年度) ※年間利用者数は、年間入館者数と座席数から按分。
ポイント	総合図書館東入口に近く、基礎工学部からのアクセスが便利で学生に人気のアクティブラーニングスペース。 多言語・異文化理解のための共同学習スペースとして設置。

ネーミングライツ対象施設【5. エマージングサイエンスデザインR3センターG棟ナノエレクトロニクス実験室】（2022/10/3掲載）



室名	エマージングサイエンスデザインR3センター G棟1階 G117-121 ナノエレクトロニクス実験室（豊中キャンパス）
面積	78㎡
収容人数	最大8人程度
タイプ	学内外共用実験室
利用者	学内大学院生、教職員、社会人学生、企業共同利用者
利用者数	延べ1,000人/年
ポイント	豊中キャンパス唯一の本格的超微細加工用クリーンルーム
	最先端電子線描画装置2台による教育研究・産学共創を幅広く発信可能
	学生教職員の教育研究利用、多数のリカレント社会人の実習実施、企業の共同利用

ネーミングライツ対象施設【6. 全学教育推進機構管理・講義A棟学生ラウンジ】（2022/10/3掲載）



室名	全学教育推進機構 管理・講義A棟3階学生ラウンジ (豊中キャンパス)
面積	29㎡
収容人数	20人程度
タイプ	オープンスペース
利用者	学生・教職員
利用者数	11,500人/年
ポイント	講義室から近いオープンな空間 自習スペースとして多くの学生が利用 近くに講義室があることから、通行者が多く、上記の利用者数よりも多くの学生の目に触れることが予想される